平成30年度事務事業実績評価表 1 事業概要											課名		人事課	事業No.		37	
1 3	T 19% 3	2										一般会		予本(10)		- 01	
事務事業名				健身	東管理	事業				事	業区分	-		実施区分		継続	
											開始			終了			
	=	主要区	<u>分</u>	主	Ī	記号	計画等名称										
	単	绐啊么 拿十	<u> </u>	_	+												
	+	戦略計画															
根																	
拠	分野別計画																
						4 th A	/h- /L _										
	法全	令・例	坦笑		万世	助女王'	衛生法										
	14.	₹ IV3	がって														
			Ţ	 対象	職員												
Ę	事業目	的	-		-		ウグロナギルに	·- ~ 白昕+		· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	- += / - 7						
	NIK -L =	•	Æ	図	職員	見の健	康管理を適切に	仃つて 艮賞 6	が氏で	ナーヒスで	を提供する	5					
2 事	業内容	容 				В	双組内容					収弗	の中容		車士	学典/工四)	
		· 全]	離員を	対象。	とした		<u>以紐内谷</u> 診断(人間ドツ:	カ受診、定期	経費の内容 診、定期健康 健康診断(定期健康診断・人間ドック				事業費(千円) 7等) 18,672				
											スチェック			/ u /	1,288		
		・特別	定保健	指導	を実施	返しまり	した。	メンタ			タルヘルス研修				415		
30年度								T修、セルフケア									
		研修を開催。セルフケア研修2回のうち1回は、スト エックで仕事量の負担が高い保育士に職種を限定した。															
取	組		しまし		- / / -		N(14 T) - 198(T)	- 12/2014	115 C								
								こ関する指針をグ									
							職員に周知すると ど体制づくりをえ		総口								
		C/4	る作政	貝で目	110月9	100	△144両 ノくりで↓	世のよした。		— - (1)	- 47					_	
									ᇴ	その他(28年度	の経質 平成29 ²	= #=	平成30年度	令和元年度	⊊	0 令和2年度	
		指標名 (数値で表せる活動量)						単位		,20 <u>年 </u>	実績		<u> </u>	マルルール	Ž	マ州4十反	
		健康診断受診数 (正規職員))	人		1,512		,528	1,554				
		健康診断受診数 (臨時職員)						人		837		897	912				
活動指標		健康診断事後フォローセミナー参加者数						人		28		51	14		_		
		ストレスチェック受検者数 ストレスチェック後メンタルヘルス相談者数					ヘルス相談者数	人		2,080 25		23	2,130 37				
		ストレスノエフノ 区パンフノル ハルへ旧映目奴								20			- 37				
					- DT												
				草額 草額			20,603	:) 長野県市	田工士士取出	2日 44 汶如			ひ補足事項				
30年度 決算 (千円)				^早 研 国庫支	出全		20,375 (?	.) 文到/県中	뜨기 사기 계차	(貝共伊祖	自即风玉						
		D4.VE	ΙE	支出			0										
		財源は状況	ル 対	也方債			0										
		1//////////////////////////////////////		<u>- の他</u>			100										
っ車	黎東 第	 業を構		般財			20,275										
番	会				大	中											
号	計	款	項	目	事業	事業	予算額	決算額				-	中事業名(科目名	3称)			
1	1	2	1	10	12	1	20,603	20,375		康管理費	}						
•	·	_	•	. •				20,373		- A - L - L - L - L - L - L - L - L - L	•						
2																	
_																	
3																	
3																	
4																	

7 ・健康診断受診率は、29年度99.5%から30年度99.6%に向上、微増ながら受診率の維持を目指します。 ・高ストレスと判定される職員・部署に対する現行の研修に加え、予防策や対応策について検討が必要です。 振返り課題認識 ・ハラスメント防止に関する指針の制定により、指針、相談窓口(相談員)の配置、具体的言動例の周知に努めてきました 次の段階として、防止に向けた管理職、一般職、相談員それぞれを対象とした研修機会の設定が必要です。 ・健康診断の未受診者の早期把握と受診勧奨を早期に実施します。 上記の課題解決 ・高ストレスと判定される職員・部署に対して、専門的知見を活用して、具体的対応策及び予防策について検討します。 のための有効策 ・ハラスメント防止に関する研修の機会を、管理職、一般職、相談員それぞれに対して設定します。 ・定期健康診断終了後未受診者を把握し、重点的に受診勧奨を行います。 次年度に向けて ・専門家をアドバイザーとして委託し、ストレスチェックの判定を活用したメンタルヘルスに関する対応策を検討します。 の取り組み ・ハラスメント防止に向けた研修を管理職、一般職、相談員それぞれを対象として実施します。